

大庄中だより

令和5年 7月 20日
尼崎市立大庄中学校
校長 徳山 壮一 No.6

さあ！ 明日から 夏休み



皆さんには、35日間の『時間のボーナス』が与えられます。この『時間のボーナス』を大切に充実した生活を送り、心も体もたくましく成長し、「いい目」「いい顔」で2学期を迎えることができるようにしましょう。

始業式 8月25日(金)

人は、目標を持ち、その目標の達成のために努力している時、いきいきと生活でき、充実感・満足感を味わうことができます。三者懇談会で担任の先生からいただいたアドバイスをもとに、学習面・生活面・体力面のそれぞれに目標を定め「目標のある生活」を送ってください。夏休みが終わった時「よく顔晴った」と「自分で自分をほめる」ことができる夏休みにしましょう。



1年生の皆さん・・・入学から4ヶ月。中学生として、しっかりと成長することができました。今後さらに成長するために、将来のことを考えながら中学校生活を送りましょう。

2年生の皆さん・・・いよいよ、皆さんが主役となって『チーム大庄』を引っ張っていかねばなりません。3年生の皆さんが築いてきた伝統を引き継ぎ、1年生とともに、さらに素晴らしい大庄中学校を創り上げていきましょう。

3年生の皆さん・・・『夏を制する者は、受験を制する』の言葉とおり、自分の夢・目標の達成のために、小さな努力を積み重ねていきましょう。思いどおりにいなくても、絶対にあきらめてはいけません。『継続は力なり』自分の力を信じて、常に笑顔で前に進んでいきましょう。

チーム大庄の活躍



○第67回阪神中学校総合体育大会

【野球部】 準優勝

1回戦	VS 伊丹北中	4-0	○
2回戦	VS 武庫東中	6-0	○
準決勝	VS 山手中	9-1	○
決勝	VS 甲陵中	3-8	●



【男子バレーボール部】

1回戦	VS 瓦木中	2-0	○
2回戦	VS 荒牧中	1-2	●



【男子ソフトテニス部】

団体戦	2回戦	VS 伊丹東中	3-0	○
	3回戦	VS 大社中	0-2	●



【男子バドミントン部】 第3位

団体戦	1回戦	VS 甲南中	2-0	○
	準決勝	VS 荒牧中	1-2	●



【女子バドミントン部】

団体戦	1回戦	VS カマリンBCJR	1-2	●
-----	-----	-------------	-----	---



【柔道】

男子81kg級	泉 永遠	3位	祝 県大会出場
男子66kg級	中山浩希	ベスト8	

【水泳】 祝 県大会出場

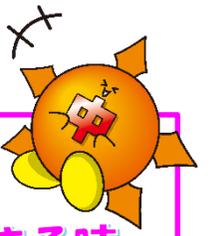
男子100mバタフライ	福井寛人	3位		
男子200m背泳ぎ	藤田優真	3位		
男子100m背泳ぎ	藤田優真	3位		
吉村敬心	田辺ゆあ	中村心香	藤田章真	



【体操】 祝 県大会出場

谷口雅弥	4種目(ゆか 跳馬 鉄棒 あん馬)	8位
------	-------------------	----

今月の言葉 ~ 絶対にあきらめない ~



結果が悪い時が一番成長できる時

部活動でも「勝ち・負け」、学習でも「点数・順位」、3年生がこれから挑戦する受験においても「合格・不合格」の『結果』がです。物事には、『結果』がつきものです。そこで、『頑張る』ことと『結果』の関係について話をします。4つの場合が考えられます。一つ目は、「頑張って、結果が良かった。」場合。二つ目は、「頑張ったけれど、結果が悪かった。」場合。三つ目は、「頑張らなかったけど、結果が良かった。」場合。最後の四つ目は、「頑張らなかったし、結果も悪かった。」場合が考えられます。最も良い関係は、どの関係だと皆さんは思いますか。校長先生は「頑張って、結果が良かった。」場合だと思います。この場合は、誰もがやる気を出して、さらに頑張ろうと努力します。努力するから、また良い結果が出る可能性が高まります。しかし、いつもそんなにうまくいくとは限りません。四つ目の「頑張らなかったし、結果も悪かった。」場合は、別として、あとの二つの場合を皆さんはどのように考えますか。すなわち、「頑張ったけれど、結果が悪かった。」場合と「頑張らなかったけど、結果が良かった。」場合の二つです。この二つは大きく意味が違います。私たちは、「結果良ければ、全てよし。」と、とにかく結果ばかりを気にしてしまいがちですが、「頑張らなかったけど、結果が良かった。」場合が、一番危険ではないでしょうか。人は、「頑張らなくて、良い結果を手に入れた。」時、頭の中で、「なんとかなる」とか「おれはできる」など、甘い考えやうぬぼれが出て、努力することの大切さを忘れ努力のできない人になってしまう可能性があります。つまり、大きな落とし穴にはまり込んでしまいます。一方で、「頑張ったけれど、結果が悪かった。」場合は、本当に辛く、やる気が薄れてしまいがちですが私たちに本当の力がつくのは、「頑張ったけれど、良い結果を手に入れることが出来なかった。」時ではないでしょうか。頑張っても結果が悪かった時、どうしたら結果が良くなるのかを考え、強い意志を持って、あきらめずに努力を積み重ねることで本当の力がみつきます。どんなに素晴らしい人でも結果が悪い時があります。逆に言うと結果が悪い時に、あきらめずに努力をした人が素晴らしい人になっているのではないのでしょうか。結果が悪い時は、私たちが成長できるチャンスです。結果が悪い時こそ、あきらめずに努力のできる生徒であってほしいと願っています。 7月3日 生徒朝礼 校長講話